



一人で抱えない、医療安全。

参加者の声から見てきた「つながること」の大切さ

過去2回の「はじめての医療安全管理者」アンケートから、現場で求められている学びをご紹介します。

100%

過去2回のアンケート回答者全員が、研修を「勧めたい」または「どちらかといえば勧めたい」と回答。

参加者から寄せられた声

「この場合どうしたらよいか？」を相談する相手がいないため、困っています。」（第1弾アンケート）

「他施設とのつながりをもっと深めたいと思っています。」（第1弾アンケート）

「グループメールで日々の悩みが相談でき、他施設はどのように対応しているかを共有することができます。」（第1弾アンケート）

「医療安全管理者としての具体的な取り組みを聴け、大変参考になりました。」（第2弾アンケート）

また、具体的な取り組みを知り、院長や看護部長、各部門長と相談してよいと気づいたことで「少し、気持ちが軽くなりました」という声も寄せられました。

だからこそ、第3弾は「地域で支え合う医療安全」

知識を学ぶだけでなく、他施設の経験を知り、悩みを共有し、相談できるつながりを考える機会に。医療安全管理を一人で担っている方、地域のつながりを広げたい方におすすめです。

第3弾 開催概要

テーマ | 地域連携、ワンオペ管理者へ向けた地域で協力し合う医療安全

日時 | 2026年10月26日（月）18:30～19:30

講師 | 川上 善久 先生（瀬口脳神経外科病院 医療安全管理室）

形式 | オンライン（Zoom）参加費 | 1,980円（税込）定員 | 80名（先着順）

お申込み・詳細：<https://imsafer-studygroup20261026.peatix.com>

出典：ImSAFER 研究会「はじめての医療安全管理者」アンケート（2026年5月16日・8月26日）。引用は回答の一部を抜粋。第3弾に関する参加者評価ではありません。